

異臭・におい成分分析のご案内 -加熱脱着装置付きGC/MS-

こんなお悩みはありませんか？

- ◆ 悪臭防止法で定められた項目だけでは異臭成分が特定できない。
- ◆ 原因不明のにおい、どんな成分が発生しているの？
- ◆ 時間が経過すると、においに変化が生じる。原因成分は？
- ◆ このにおいの主成分やその他の成分は？
- ◆ におい対策したいが原因成分がわからない。

異臭・においの成分を推定

加熱脱着装置付きGC/MSにより定性分析することで原因物質が推定できます。

■ ガス中の異臭・におい成分

環境大気、排ガス、室内空気等を加熱脱着装置付きGC/MSで分析し、ガス試料中に含まれる異臭・においの原因成分が推定できます。



バックによるにおいの採取風景

■ 固形物のにおい成分

固形物試料をバックに入れ、加熱してガスを発生させます。
試料から出るガスを加熱脱着装置付きGC/MSで分析することで、
においの成分が推定できます。



固体試料からガス発生状況

異臭・におい成分分析概要

■採取・分析概要

- 加熱脱着 (Thermal Desorption) とガスクロマトグラフ質量分析計 (GC/MS) を組み合わせた装置を使用します。
- 環境大気、排ガス、室内空気などのガス成分を吸着させた捕集管を加熱脱着装置により加熱し揮発成分を脱着します。
- 脱着成分の一部をガスクロマトグラフ質量分析計へ導入し化合物を検出します。
- 化合物の質量数をスキャン測定することにより定性分析・成分同定が可能です。
- デコンボリューション機能及びリテンションインデックスを用い、異臭・においの原因成分を推定します。
- 試料は、捕集管もしくはバッグで簡単に採取できます。

■分析装置



ガス捕集資材の一例



捕集管



バッグ

ガスクロマトグラフ / Agilent8890

ガスクロマトグラフ質量分析計 / Agilent5977B

加熱脱着装置 / Markes TD-100xr

収録データベース

NIST、異臭データベース、AromaOffice for MassHunter

